

大学運動部における“先輩”の勢力資源に ついての調査研究

岡田 猛*

(1991年10月14日 受理)

Research on the Senior's Power-Resources on University Sports Club

Takeshi OKADA

I. はじめに

一時よく、4年神様、3年天皇、2年市民、1年奴隷という表現で大学運動部における上下関係が椰揄、非難された。なにか運動部で不祥事が生じる度に、マスコミで実態の一環が明らかにされ、改革の必要性が指摘された。

このような運動部における封建性への反発も手伝って、近年同好会の簇生も著しく、新規部員の確保のために運動部によっては従来の組織、運営の見直しにせまられたところもある。

しかしながら依然として、運動部活動における“技術向上”“試合での勝利”といった目標にかかわって、部における厳しい上下の人間関係の厳守が指摘されるのも事実である。三隅二不二¹⁾、T. パーソンズ²⁾の集団論におけるP機能、G要件を想起するまでもなく、前記部集団目標が不可欠である以上、それとのかかわりで部における人間関係も議論されなければならないのは言うまでもない。

丹羽は³⁾、“キップテンの最終的な決定権限は誰にあるのか”等といった観点から、運動部の“規範生成構造”を類別し、「部員外型」「部主脳型」「部員内主脳型」「部員型」を析出した。そして部の“強さ”がこの順に低くなることを大学運動部の調査によって明らかにした。つまり部集団の構造における“民主度”と“強さ”は逆の関係にある、というものである。

筆者は⁴⁾、幾つかの一流スポーツ集団の事例を分析し、“民主度”と“強さ”のこのような関係はあくまでも現状の実態を示すものであり、必然性を意味するものではない。従って“民主度”と“強さ”の両立を可能にする条件の実践的解明が必要であるとし、その方向を示唆したことがある。

また、運動部における封建的な上下関係がどのような条件によって存続させられているかも、重

*鹿兒島大学教育学部保健体育科（体育原理・体育社会学）

要な研究領域としてのこされている。運動部の周辺文化としての“コンパ”に注目し、その意外な集団構成機能について筆者は既に手を付けているが⁵⁾、スポーツの文化的內容等にもその条件が潜んでいる可能性もある。

このように述べてくると、大学運動部における人間関係についての研究は多様な展開の可能性をもっているように思われるのであるが、いずれの展開においても運動部における上下の人間関係の実態が厳密に把握されていることは基礎的に重要なことである。

本研究においては、J・R・P・フレンチ, Jr と B・レイヴィンの「社会的勢力理論 (social power theory)」⁶⁾に基づいて大学運動部における先輩—後輩の上下関係の実態を調査により明らかにしてみたい。

周知のようにフレンチとレイヴィンは、一般的で重要な基礎的勢力として報酬性勢力、強制性勢力、正当性勢力、準拠性勢力、専門性勢力をあげている。

ここで勢力とは、2行為者間における影響の流れを担保する影響者の資源とでも説明されるものである。この資源も関係—機能的アプローチ⁷⁾によるものであるから、必ずしも影響者の実体的属性、資源である必要はなく、被影響者の認知によるそれである。

本調査に即して言えば、「運動部において先輩（上級生）からいろいろと指導や指示、注意を受けることがあると思います。あなたがそれに従うのはなぜだと思いますか。以下にあげたそれぞれの理由についてあてはまるところに○印をつけてください。」という質問によって導かれる内容のことになる。

Ⅱ. 研究の方法

質問紙の構成は、先輩の指示等を受け入れる理由項目として104項目を彫琢し、それぞれに「非常にあてはまる」から「全くあてはまらない」の五段階の尺度を示し選択させ、5から1のウェイトづけにより統計的な処理に乗せた。

質問紙にはその他に性別等の個人的属性や、幾つかの意見や活動実態が分析視点として加えられた。

表-1 分析対象者の構成

性	学年			
	1年	2年	3年	4年
男性 142人	53人 37%	44人 31%	36人 26%	9人 6%
女性 45人	17人 38%	9人 20%	18人 40%	1人 2%

調査期間は1990年11月である。

調査対象はK大学運動部部員であるが、エディティングの結果有効な対象とされたのは187ケースであった。その性別、学年別構成は表-1に示したとおりである。

Ⅲ. 上位, 下位評定項目の特徴

先輩への追従の理由としての項目レベルでの評定になにか特徴はみられないであろうか。ここでは高く評定された項目, 低く評定された項目を取り出し, 検討してみることにする。

表-2は, 上位, 下位からそれぞれ5項目を示したものである。

上位項目の2, 67, 95, 31に特徴的なのは, 先輩の指示, 注意は自分の“悪いところ”“間違い”に向けられているのだから, それを受け入れ, 従うのが結局は自らの利益, 向上になるというコンテキストであるように思われる。

後輩は自らの利益, 向上を基準にして, それに合致する指導や指示, 注意には積極的に対応するという合理的な振る舞いをしていると考えられる。

項目番号1は, これらとは対象的に, 集団秩序を理由とするものである。運動部の集団としての特性が反映したのであろう。

表-2 評定値 (平均) における上位および下位項目

項目番号	項 目	\bar{X}	σ	
上位 項目	2	先輩(上級生)に注意されるのは自分の悪いところだから	3.94	0.63
	67	結局は自分の為になると思うから	3.92	0.78
	95	自分の間違いを直す材料になるから	3.92	0.73
	1	従わないと, 集団としての秩序が保てないから	3.89	0.80
	31	自分の技術向上になるから	3.88	0.79
下位 項目	80	先輩(上級生)は神様と同じだから	1.92	1.06
	20	従わないと罰があるから	2.00	1.09
	61	まわりが先輩(上級生)のかたをもつので仕方なく	2.17	0.93
	68	先輩(上級生)の言うことを聞かないとかわいそうだから	2.45	0.96
	71	従わないと怒鳴られるから	2.45	0.94

表-3 先輩の勢力因子の固有値, 寄与率, 累積寄与率

項目 \ 因子	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
固有値	19.21	14.02	4.91	3.49	3.01	2.66	2.29	2.11	1.96
寄与率(%)	0.18	0.13	0.05	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02
累積寄与率(%)	0.18	0.32	0.37	0.40	0.43	0.45	0.48	0.50	0.52

表-4 因子分析法による分析結果～VARIMAX 回転後～

因子	項 目	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	※
人 間 性	57 先輩と一緒にいると楽しいから	.765	.084	.015	.107	.026	.061	.053	-.076	.021	.617
	74 先輩に親しみを感じるから	.752	-.014	.125	-.057	.062	.043	.070	-.062	-.053	.601
	77 先輩が人間的に好きだから	.742	-.117	.146	.024	.077	.045	-.004	-.047	-.046	.599
	75 自分の理想の人に似ているから	.709	-.065	.027	.039	.179	-.039	.033	.273	.091	.626
	84 面白い先輩だから	.708	.183	.009	.134	-.052	-.044	.008	.164	.084	.591
	66 先輩はやさしいから	.694	.112	.043	.088	.135	.040	-.102	-.082	-.013	.541
	55 よく相談にのってくれるから	.688	.018	.213	.035	.120	.053	-.074	-.041	.141	.564
	58 先輩は兄、姉のようだから	.637	.168	-.054	.229	.172	-.071	.120	-.063	.078	.548
	59 先輩の指導法が自分に合うと思うから	.618	.026	.137	-.056	.225	.013	.099	.172	.066	.499
	50 先輩の様になりたいと思ったから	.617	-.152	.264	.082	.187	.076	-.097	.059	.167	.562
	49 先輩がよく話しかけてくれるから	.601	.111	.142	.241	.121	.065	-.069	-.025	.109	.488
	86 先輩と一緒に練習してくれるから	.596	.056	.112	.165	.117	.039	.298	.079	-.049	.510
	91 先輩の信念がすきだから	.583	.170	.220	.197	.263	-.166	.079	.023	.066	.564
	42 先輩のことをよく知っているから	.548	.210	.097	.038	.085	-.021	.025	.066	.283	.448
	60 先輩が誉めてくれるから	.544	.259	.149	.076	-.010	.043	.154	.093	.227	.476
	89 先輩がかっこいいから	.533	.207	-.052	-.055	.142	-.168	.268	.226	.041	.507
	22 自ら慕う先輩だから	.511	-.075	.155	.207	.451	-.045	-.009	.063	.084	.550
	97 真面目な先輩だから	.506	.178	.204	.002	.361	-.137	.174	.042	-.226	.561
	47 励ましてくれるから	.485	-.073	.252	-.123	.179	.219	.132	.155	.169	.470
	39 考えや意見を受け入れてくれるから	.462	.027	.113	.098	.060	-.021	.176	.170	.156	.325
	76 先輩の技術に近づきたいから	.455	-.150	.367	-.082	.208	-.104	.128	.319	-.178	.575
	32 興味を持つものが一緒だから	.446	.064	.227	-.009	-.047	-.195	.093	.028	.329	.413
	96 先輩は皆に対して公平だから	.429	.108	.119	.120	.311	-.091	.287	-.097	-.101	.432
45 先輩は技術的に一日の長があるから	.420	-.012	.270	-.008	.222	-.064	.045	.151	.372	.466	
53 先輩は経験が豊富だから	.417	-.107	.413	.159	.266	-.205	-.000	.172	.144	.474	
81 先輩はチームカラーをよく知っている	.417	.095	.050	.023	.322	.087	.267	.061	-.068	.377	
100 先輩の真剣さが伝わってくるから	.410	-.154	.357	.097	.272	.098	.127	-.159	.057	.457	
34 先輩が自分を見てくれて感謝	.402	-.094	.262	.082	.356	.010	.128	.026	.322	.493	
51 言うことを聞くほうがうまくいく	.354	.134	.272	-.160	-.125	.068	-.167	.023	.264	.361	
23 試合に勝つためだから	.301	-.010	.194	-.025	.145	.065	.284	.201	.289	.358	
強 制 性	65 先輩の気分を損なうから	.072	.765	.012	.121	-.092	.118	-.015	-.108	.034	.641
	46 扱いにくい奴だと思われるから	.101	.732	-.190	-.123	.067	.107	-.048	-.101	.070	.630
	83 先輩の顔をたてないといけないから	.106	.704	.006	.073	-.056	.136	.025	-.056	-.027	.538
	54 先輩がこわいから	.066	.693	-.022	.033	-.005	-.020	-.135	.209	.110	.561
	63 先輩には絶対服従と言われ続けて	-.113	.691	-.003	.332	-.033	.041	.077	.061	.067	.618
	78 先輩が厳しく注意をするから	.049	.672	.069	.081	-.007	-.103	.246	.003	-.098	.546
	61 まわりが先輩のかたをもつので	.110	.672	-.178	-.109	-.163	-.055	.111	.171	.132	.462
	99 先輩が権力をもっているから	-.060	.629	-.076	.382	.100	.028	.120	-.013	.025	.578
	71 従わないと怒鳴られるから	-.021	.623	-.308	.162	-.016	.022	.232	.252	-.083	.634
	101 部内がうまくやっっていけなくなる	-.129	.607	.001	.001	.012	.454	-.074	-.026	.073	.603
	28 従わないと後々居づらくなるから	.106	.588	-.133	-.120	-.044	.256	-.297	.185	.029	.580
	44 部の雰囲気が悪くなるから	.015	.561	-.131	.152	-.013	.387	.041	-.313	.101	.614
	72 先輩は厳しいから	-.026	.555	-.092	.327	-.023	.053	.314	.170	-.102	.565
	68 言うことを聞かないとかわいそう	.098	.553	-.323	-.111	-.135	-.039	-.012	.014	.092	.461
	92 部の伝統・慣習であるから	-.050	.543	-.109	.348	-.050	.204	.153	.062	.016	.503
	13 先輩に嫌われるから	.202	.543	.017	.085	.117	.130	-.412	.024	.033	.545
	87 後輩に対してしめしがつかないから	-.150	.533	.061	.164	.175	.352	.137	-.125	.051	.529
	40 先輩によく思われたいから	.270	.525	-.031	.149	.008	.114	-.225	.068	-.073	.446
	82 先輩に従わないのは悪いと思うから	.162	.524	.020	.293	-.142	.232	-.178	-.102	-.064	.507
	5 従わないと怒られるから	-.067	.522	-.248	.290	-.013	.119	.015	.255	.021	.502
	36 日本独特の精神文化だから	.062	.439	-.084	.336	-.154	.030	-.066	.176	.218	.424
	69 先輩は無視できないから	.331	.404	.074	.211	-.132	.047	-.088	.206	.175	.422
	80 先輩は神様と同じだから	.219	.353	-.164	.109	.293	-.166	.118	.317	.014	.439

因子	項目	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	※
向上性	95 自分の間違いを直す材料になるから	.006	-.194	.760	.076	.027	-.012	.136	-.086	.022	.648
	94 他の意見を聞くのは良いことだから	.061	-.237	.682	.172	-.049	-.049	.096	-.051	.145	.592
	67 結局は自分の為になると思うから	.171	-.265	.634	-.051	.190	.034	.099	.005	.033	.552
	31 自分の技術向上になるから	.245	-.108	.630	-.099	.160	.102	.229	-.016	.285	.648
	98 自らの態度が悪いことに気づいたから	.199	.116	.575	-.125	.064	.005	.125	.012	-.296	.507
	79 自分の短所がわかっているから	.318	-.047	.569	-.054	.105	-.094	.020	-.016	-.094	.460
	2 注意されるのは自分の悪いところ	.113	-.141	.487	.016	.231	.225	.080	.018	-.161	.406
	64 先輩は優れた経歴を持っているから	.391	.097	.475	-.017	.352	-.120	.058	.167	.082	.565
	70 自分を客観的にみてるから	.394	.026	.464	-.087	.219	-.165	.025	-.106	.135	.484
	19 先輩の言うことにはなるほどと思う	.186	-.273	.455	.013	.366	-.004	-.231	.208	-.004	.547
正当性	52 自分が間違っていると素直に思うから	.341	-.162	.453	-.098	.008	.056	.019	.333	-.052	.474
	27 多くの知識・技能をもっているから	.309	-.093	.412	-.195	.395	-.037	-.006	.096	.155	.502
	88 自分が知らないことだったから	.254	.010	.358	-.233	.238	-.151	.006	.060	-.090	.339
	11 目上のひとに従うのは当然だから	.266	.198	-.023	.623	.107	.114	-.163	-.084	.034	.558
	3 先輩に従うのはあたりまえだから	.254	.177	-.010	.620	.111	.128	-.082	.201	-.095	.566
	18 先輩にたいして失礼になるから	.120	.267	-.152	.603	.143	.242	-.149	-.062	-.030	.578
	93 運動部は“そういうもの”だから	-.057	.417	-.077	.601	-.055	.251	.091	.130	.024	.636
	38 目上にたいする礼儀を重んじるから	.225	.215	.078	.553	-.158	.255	.000	-.024	.070	.503
	17 先輩-後輩関係を大切にしたいから	.198	-.067	-.101	.545	.022	.369	.044	-.059	-.015	.494
	104 どこでも先輩、後輩の関係はある	.046	.284	.095	.543	.089	.347	.198	.035	-.071	.561
人間性 専門	43 先輩は自分より年上だから	.200	.431	.067	.505	.069	.062	.068	-.013	.039	.501
	26 先輩は絶対だと思ふから	.091	.339	.076	.482	.144	-.071	-.138	.386	.259	.621
	7 先輩を尊敬しているから	.358	-.012	.120	.105	.618	-.039	.033	.001	-.084	.545
	8 自分達のことを考えてくれるから	.283	-.192	.210	.084	.589	.163	-.006	-.015	-.092	.551
	12 先輩の教え方が上手だから	.304	.156	.093	-.148	.535	-.047	.007	.017	.342	.553
	15 先輩を信頼しているから	.472	-.133	.157	-.003	.504	.143	.010	-.183	.022	.574
	4 先輩が手本を見せてくれるから	.307	-.027	.115	.207	.492	.040	.043	.165	-.005	.424
	35 先輩の知識・技能は正しいから	.383	-.017	.265	.075	.450	-.067	.069	.039	.049	.439
	16 自分の知識が増えるから	.218	-.074	.367	-.190	.426	.166	.057	.072	.153	.465
	103 先輩は人生の先輩だから	.310	-.097	.336	.316	.352	-.095	-.019	.290	-.106	.547
集団維持	6 チームワークが乱れるから	-.106	.109	-.030	.196	.043	.710	.151	.026	-.045	.594
	14 チームの連帯感を乱さないため	.068	.112	-.031	.158	-.009	.699	-.014	-.022	.060	.536
	29 チームでの障害になるから	.024	.378	.026	.076	-.277	.597	-.119	.082	-.026	.604
	1 集団としての秩序が保てないから	-.108	.188	-.076	.179	-.033	.559	.098	.088	-.075	.422
	33 和を大事にしたいから	.204	.176	.349	.173	-.004	.525	-.012	-.185	.117	.549
	10 信頼関係に亀裂がはいるから	.036	.258	-.067	.212	.104	.515	-.244	.002	-.101	.463
	21 先輩にきちんとしてもらいたい	-.214	.075	.066	.122	.330	.479	.101	-.031	.268	.491
	102 自らを上級生の立場に置いてみると	.059	.288	.319	.294	.134	.325	.260	-.085	.171	.502
技術向上	85 先輩に負けたくないから	.235	.112	.214	.021	.005	.026	.596	-.063	.103	.485
	9 先輩を上回るような選手になりたい	.149	-.243	.161	-.013	.361	.011	.464	-.083	.203	.501
	90 片寄ったプレイにならないために	.292	.064	.325	-.140	.020	.171	.460	-.030	.224	.507
	41 自分を精神的に鍛えたいから	.373	.120	.169	.001	.102	.145	.455	.156	-.018	.445
	73 試合にでたいから	.372	.074	.013	-.054	-.034	-.041	.442	.339	-.134	.479
	56 人よりうまくなりたいから	.343	-.144	.345	-.186	.213	.166	.418	.069	.084	.551
依存性	62 教えてもらわないとわからないから	.232	.153	.276	.085	.077	-.230	-.080	.451	-.135	.447
	20 従わないと罰があるから	-.063	.398	-.254	.068	.073	.044	.140	.441	.044	.455
	48 他のひとにも指示通りにしているから	.220	.371	-.105	.086	.079	.216	-.202	.425	.128	.496
	37 チーム力があがるから	.257	.105	.063	.081	-.052	.284	.186	.369	.058	.345
思いやり	24 先輩が自分と似ているから	.308	.149	-.168	.024	-.077	-.072	-.016	.064	.617	.542
	25 他にいやな思いをさせたくないから	.197	.324	.086	-.048	.071	.255	.122	-.095	.430	.433
	30 悪気があってのことでないから	.257	.093	-.051	.086	.109	.084	.195	-.181	.405	.339
	固有値(ΣF ²)	19.21	14.03	4.91	3.49	3.01	2.66	2.29	2.11	1.96	53.68
	分散寄与率(%)	35.8	26.1	9.1	6.5	5.6	5.0	4.3	3.9	3.79	
	累積寄与率(%)	35.8	61.9	71.1	77.6	83.2	88.1	92.4	96.3	100	

個人原理と集団原理という相対する項目がどのような関連のもとに置かれているのかをみるためには、次の因子分析をまたなければならない。

さて、下位項目に目を移してみよう。

項目80が最も低く評定されているが、4年神様、3年天皇、2年市民、1年奴隷という表現は今日ではもう妥当性を欠いているかもしれない。あるいはもともと誇張の度合いが大きい表現であったのかもしれない。

20, 61, 68, 71の項目に共通しているのは、消極的で止むを得ざる理由、上位項目とは異なって自らの得心を介さない追従ということである。威圧的な押しつけは、大学生にあっては功を奏する可能性は小さいといえるのかもしれない。

IV. 因子分析による因子の抽出

先輩の後輩にたいする勢力の因子を探るため、因子分析を施した。

全項目間における相関係数を求め、主因子解により第1回目の因子をすくい上げた。その結果から、累積寄与率が50%を越える第9因子でうちきり、因子の解釈を容易にするための Normal Varimax 法の直交回転をこの9因子に適用した。

表-3は、第9因子までの固有値と寄与率、累積寄与率である。

表-4は、回転後の因子負荷行列と固有値、寄与率、累積寄与率を示しているもので、これにより解釈を試みることにしよう。

まず、9つの因子の寄与率の情況により、第1、第2の因子の説明力の大きさが顕著であり両因子で全体の61.9%を占めている。第3因子以降の説明力の小ささが対照的である。つまり、大学運動部における後輩にたいする先輩の勢力は大きくふたつの因子により形成されているという興味深い結果が出ているのである。

因子の解釈に移ろう。

第1因子：項目が多く、すべての項目を含んだ一義的な解釈は困難のようでもあるが、項目を追っていけばおよその意味は明らかになる。楽しい、親しみ、面白い、やさしい、などのことばから察せられるように、この因子は先輩の親和的な人柄に発するもののようである。そこで[人間性一親和一]因子という命名が許されよう。

第2因子：フレンチとレイヴィンは同調しなければ受けるかもしれないと感知される罰の可能性による影響力を強制性と呼んでいる。含まれている項目のほとんどは、先輩の気分を損なわないような気遣いや、あからさまな権力的強制を示すものであるので[強制性]因子と命名したい。

第3因子：先輩の指導、指示、注意に従うことが結局は自らの利益になるという認知に基づく場合がある。フレンチとレイヴィンは報酬をもたらしてくれるから従うという事態を報酬性勢力としているが、ここに分類された項目が意味するのは、相手から報酬を得ると言うより、自己報酬的な

ものである。そこで [向上性] 因子と呼ぶ。

第4因子：指導、指示、注意の内容以前の問題である。目上、先輩、年上ということが、従うことの十分な根拠になるのである。社会学者リントンは、業績的地位 (achieved status) にたいして、生得的な属性に基づくそれを生得的地位 (ascribed status) と呼んであるが⁸⁾、年長という属性による生得的地位に基づく影響力といったところであろう。フレンチとレイヴィンにならって [正当性] 勢力としたい。

第5因子：第1因子に類似した内容であるが、指導や知識、技能における先輩の一步先をゆく熟達に関する項目が加わっているので、[人間性-専門-] 因子と名付けておきたい。

第6因子：チーム、連帯感、集団、和、信頼関係などのタームに現れているように、運動部のまとまりへの配慮が先輩に従わせる根拠になっている。特に、集団への個の埋没ということで批判を受けてきた日本的な集団主義の感情である。[集団維持] 因子である。

第7因子：第3因子同様、先輩に従う理由を自己の向上に求める項目が並んでいるが、内容的にプレイに限定される傾向にあるので、[技術向上] 因子として、第3因子と区別したい。

第8因子：項目間に意味上の共通性を見つけるのは困難にも思われるが、自己の存在を押し出さない、他者指向性では一環しているようなので、[依存性] 因子と呼んでおきたい。

第9因子：第1因子、第5因子と同じように人間性にかかわる内容であるようであるが、この場合後輩のそれであるので [思いやり] 因子と命名したい。

以上、抽出された9つの因子について解釈、命名をしてきたのであるが、先の表-4にも示された寄与率等を勘案すれば、特徴として次のことが言えるであろう。

大学運動部において後輩は先輩の指導や指示、注意を受ける場面が多くあるが、その場合これらの指導等を受け入れる理由としての先輩にたいする後輩の認知内容には、大きく [人間性-親和-]、[強制性] の二つの因子が認められる。逆の面から言えば、大学運動部では先輩は [人間性-親和-]、[強制性] の二つの勢力によってその影響力を後輩にたいして堅持しているといえる。

これらふたつの勢力は“親しみやすさ”と“怖さ”ということで内容的には相互に対照的であり、したがって先輩はいずれかにタイプ化されるか、あるいは巧妙にふたつを使い分けながら実際は影響を及ぼしているのであろう。いずれにしても、先輩の側からするとなかなか難しい事態になっているといえるであろう。

V. 因子、項目の各識別変数によるT-検定の試み

因子分析により9つの因子を抽出し、解釈、命名してきたのであるが、それらの因子がどのような意味を持つのか、他の変数との関連において分析をすすめてみたい。具体的には、他の幾つかの変数をふたつのカテゴリーに、またふたつ以上のカテゴリーまたは連続変量の場合は適当にふたつ

表-5 各識別変数による T-検定の結果

因子	項目	識別変数		性別		学年		種			
		男	女	男	女	1・2	3・4	T-値	個人	集団	
人間性	57 先輩と一緒にいると楽しいから										
	74 先輩に親しみを感じるから										
	77 先輩が人間的に好きだから										
	75 自分の理想の人に似ているから										
	84 面白い先輩だから										
	66 先輩はやさしいから										
	55 よく相談にのってくれるから										
	58 先輩は兄、妹のようだから										
	59 先輩の指導法が自分に合うと思うから										
	50 先輩の様になりたいと思ったから										
	49 先輩がよく話しかけてくれるから										
	86 先輩と一緒に練習してくれるから					3.28	3.00	2.35*			
	91 先輩の信念がすきだから										
	42 先輩のことをよく知っているから										
	60 先輩が誉めてくれるから										
	89 先輩がかっこいいから										
	22 自ら慕う先輩だから										
	97 真面目な先輩だから										
	親和性	47 励ましてくれるから	3.44	3.80							
		39 考えや意見を受け入れてくれるから									
76 先輩の技術に近づきたいから											
32 興味を持つものが一緒だから											
96 先輩は皆に対して公平だから											
45 先輩は技術的に一日の長があるから											
53 先輩は経験が豊富だから											
81 先輩はチームカラーをよく知っている									2.92	3.27	
100 先輩の真剣さが伝わってくるから		3.08	3.49								
34 先輩が自分を見ていてくれて感謝											
51 言うことを聞くほうがうまくいく											
23 試合に勝つためだから											
計			3.25	3.22	0.38	3.26	3.21	0.64	3.18	3.31	
強制性	65 先輩の気分を損なうから										
	46 扱いにくい奴だと思われるから										
	83 先輩の顔をたてないといけないから										
	54 先輩がこわいから										
	63 先輩には絶対服従と言われ続けて										
	78 先輩が厳しく注意をするから										
	61 まわりが先輩のかたをもつので										
	99 先輩が権力をもっているから										
	71 従わないと怒鳴られるから										
	101 部内がうまくやっていけなくなる	3.08	3.49								
	28 従わないと後々居づらくなるから										
	44 部の雰囲気が悪くなるから	3.33	3.64								
	72 先輩は厳しいから										
	68 言うことを聞かないとかわいそう										
	92 部の伝統・慣習であるから								3.31	3.01	
	13 先輩に嫌われるから										
	87 後輩に対してしめしがつからないから										
40 先輩によく思われたいから											
82 先輩に従わないのは悪いと思うから											
5 従わないと怒られるから											
36 日本独特の精神文化だから								2.80	2.36		
69 先輩は無視できないから											
80 先輩は神様と同じだから	2.01	1.64			2.05*			1.77	2.09		
計			2.78	2.77	0.02	2.81	2.70	1.19	2.81	2.74	

***...p<.001 **...p<.01 *...p<.05

目	役 割		レギュラー		実 力 本 位		勝 利 指 向				
	有	無	T-値	レギュ ノン	T-値	肯定	否定	T-値	肯定	否定	T-値
-2.65**				3.11 2.78	2.84**						
				2.73 2.44	2.07*						
				3.70 3.45	2.01*			3.41	3.84		-2.74**
				3.27 2.92	2.55*						
-1.65	3.23	3.25	-0.18	3.31 3.17	1.75*	3.24	3.24	0.03	3.27	3.19	0.72
2.06*						3.04	2.67	2.22*	2.92	2.48	1.99*
						3.28	2.87	2.58*	3.28	2.90	2.16*
	2.88**					2.72	2.25	2.76**	2.95	2.28	3.34**
-2.06*								3.55	3.19	2.18*	
0.70	2.70	2.79	-0.88	2.76 2.78	-0.22	2.81	2.69	1.21	2.86	2.63	2.09*

因子	識別変数 項目	性 別		学 年			種		
		男	女	T-値	1・2	3・4	T-値	個人	集団
向上性	95 自分の間違いを直す材料になるから								
	94 他の意見を聞くのは良いことだから				3.69	3.94	-2.48*		
	67 結局は自分の為になると思うから								
	31 自分の技術向上になるから								
	98 自らの態度が悪いことに気づいたから								
	79 自分の短所がわかっているから								
	2 注意されるのは自分の悪いところ								
	64 先輩は優れた経歴をもっているから				3.37	3.06	2.15*		
	70 自分を客観的にみしてくれるから								
	19 先輩の言うことにはなるほどと思う							3.58	3.89
52 自分が間違っていると素直に思うから	3.51	3.80	-2.10*				3.43	3.74	
27 多くの知識・技能をもっているから	3.52	3.91	-2.65**						
88 自分が知らないことだったから									
	計	3.60	3.74	-1.60	3.63	3.63	0.06	3.60	3.67
正当性	11 目上のひとに従うのは当然だから								
	3 先輩に従うのはあたりまえだから								
	18 先輩にたいして失礼になるから								
	93 運動部は "そういうもの" だから								
	38 目上にたいする礼儀を重んじるから								
	17 先輩-後輩関係を大切にしたいから								
	104 どこでも先輩、後輩の関係はある								
	43 先輩は自分より年上だから								
26 先輩は絶対だと思ふから									
	計	3.34	3.38	-0.39	3.37	3.32	0.47	3.35	3.35
人間性 専門 	7 先輩を尊敬しているから								
	8 自分達のことを考えてくれるから								
	12 先輩の教え方が上手だから								
	15 先輩を信頼しているから								
	4 先輩が手本を見せてくれるから								
35 先輩の知識・技能は正しいから							3.25	3.54	
16 自分の知識が増えるから				3.84	3.59	1.98*			
103 先輩は人生の先輩だから							3.10	3.44	
	計	3.50	3.55	-0.51	3.56	3.43	1.50	3.43	3.61
集団維持	6 チームワークが乱れるから								
	14 チームの連帯感を乱さないため								
	29 チームでの障害になるから								
	1 集団としての秩序が保てないから								
	33 和を大事にしたいから	3.74	3.08	-2.03*					
	10 信頼関係に亀裂がはいるから	3.45	3.77	-2.06*					
21 後輩にきちんとしてもらいたい									
102 自らを上級生の立場に置いてみると									
	計	3.59	3.75	-2.15**	3.63	3.63	-0.02	3.60	3.65
技術向上	85 先輩に負けたくないから								
	9 先輩を上回るような選手になりたい								
	90 片寄ったプレイにならないために								
	41 自分を精神的に鍛えたいから								
	73 試合にでたいから								
56 人よりうまくなりたいたから									
	計	3.42	3.35	0.66	3.44	3.34	1.02	3.42	3.40
依存性	62 教えてもらわないとわからないから								
	20 従わないと罰があるから	2.10	1.69	2.22*					
	48 他のひとと指示通りにしているから								
	37 チーム力があがるから								
	計	2.83	2.84	-0.91	2.89	2.73	1.70	2.82	2.85
思いやり	24 先輩が自分と似ているから								
	25 他にいやな思いをさせたくないから								
	30 悪気があってのことでないから								
	計	3.05	2.99	0.56	3.08	2.95	1.31	3.10	2.98

目 T-値	役 割		レギュラー		実 力 本 位		勝 利 指 向					
	有	無	T-値	レギュ	ノン	T-値	肯定	否定	T-値			
-2.92** -2.72**	4.03	3.72	2.32*	4.10	3.72	3.57***						
				4.01	3.75	2.23*						
				3.53	3.26	2.13*						
				3.49	3.27	1.98*						
								3.43	3.78	-2.19*		
-0.93	3.67	3.62	0.44	3.71	3.53	2.38*	3.63	3.64	-0.10	3.59	3.68	-0.88
										3.47	2.93	2.59*
										3.74	3.40	2.28*
							3.25	2.96	1.98*	3.33	2.93	2.42*
0.03	3.46	3.33	1.14	3.31	3.38	-0.75	3.40	3.23	1.63	3.45	3.21	1.98
				3.36	3.11	2.05*						
-2.74** -2.73**												
-2.37*	3.55	3.51	0.45	3.59	3.43	1.94	3.52	3.50	0.18	3.49	3.53	-0.39
										3.41	3.00	2.28*
							3.89	3.57	2.48*	3.67	3.31	2.14*
-0.67	3.65	3.62	0.25	3.59	3.66	-0.97	3.67	3.52	1.69	3.75	3.50	2.28*
							3.52	3.19	2.21*			
				3.83	3.54	2.14*						
0.23	3.48	3.39	0.75	3.50	3.30	2.12*	3.43	3.34	0.91	3.48	3.36	1.08
				1.85	2.17	-2.04*						
							3.40	3.09	2.18*			
-0.37	2.76	2.85	-0.87	2.82	2.84	-0.22	2.89	2.70	1.92	2.90	2.67	2.10*
							3.26	2.92	2.37*	2.57	2.26	2.03*
1.26	3.00	3.05	-0.40	3.05	3.01	0.45	3.06	2.99	0.61	3.14	2.93	1.08

表-6 各識別変数による T-検定の結果

因子	識別変数 項目	ウ エ イ ト			不 安		
		低	高	T-値	肯定	否定	T-値
人間性	57 先輩と一緒にいると楽しいから	3.07	3.42	-2.76**			
	74 先輩に楽しみを感じるから						
	77 先輩が人間的に好きだから						
	75 自分の理想の人に似ているから	2.78	3.09	-2.24*			
	84 面白い先輩だから						
	66 先輩はやさしいから						
	55 よく相談にのってくれるから				3.43	3.11	2.58*
	58 先輩は兄、妹のようだから	2.93	3.24	-2.37*			
	59 先輩の指導法が自分に合うと思うから						
	50 先輩の様になりたいと思ったから						
	49 先輩がよく話しかけてくれるから						
	86 先輩と一緒に練習してくれるから	3.06	3.30	-1.98*			
	91 先輩の信念がすきだから	2.80	3.09	-2.34*			
	42 先輩のことをよく知っているから				3.20	2.82	3.11**
	60 先輩が誉めてくれるから	2.90	3.14	-2.03*			
	89 先輩がかっこいいから						
	22 自ら慕う先輩だから						
	97 真面目な先輩だから						
	47 励ましてくれるから	3.39	3.67	-2.28*			
	39 考えや意見を受け入れてくれるから				3.48	3.12	3.10**
	76 先輩の技術に近づきたいから				3.74	3.43	2.48*
	32 興味を持つものが一緒だから						
	96 先輩は皆に対して公平だから						
45 先輩は技術的に一日の長があるから	3.17	3.44	-2.05*	3.44	3.14	2.24*	
53 先輩は経験が豊富だから							
81 先輩はチームカラーをよく知っている							
100 先輩の真剣さが伝わってくるから							
34 先輩が自分を見ていてくれて感謝							
51 言うことを聞くほうがうまくいく							
23 試合に勝つためだから				3.24	2.96	2.07*	
	計	3.16	3.32	-2.02*	3.32	3.16	2.11*
強 制 性	65 先輩の気分を損なうから						
	46 扱いにくい奴だと思われるから						
	83 先輩の顔をたてないといけないから						
	54 先輩がこわいから						
	63 先輩には絶対服従と言われ続けて						
	78 先輩が厳しく注意をするから						
	61 まわりが先輩のかたをもつので						
	99 先輩が権力をもっているから						
	71 従わないと怒鳴られるから						
	101 部内がうまくやっけていけなくなる						
	28 従わないと後々居づらくなるから						
	44 部の雰囲気が悪くなるから						
	72 先輩は厳しいから						
	68 言うことを聞かないとかわいそう						
	92 部の伝統・慣習であるから						
	13 先輩に嫌われるから						
	87 先輩に対してしめしがつからないから						
	40 先輩によく思われたいから						
82 先輩に従わないのは悪いと思うから				3.16	2.86	2.27*	
5 従わないと怒られるから							
36 日本独特の精神文化だから							
69 先輩は無視できないから							
80 先輩は神様と同じだから							
	計	2.78	2.77	0.02	2.83	2.72	1.24

***...p<.001

**...p<.01

*...p<.05

苦しさを通じて			先輩に従う			後輩に従わせる			支配-服従						
肯定	否定	T-値	肯定	否定	T-値	肯定	否定	T-値	改善	持続	T-値				
3.12	2.81	2.26*	3.35	3.09	1.99*	3.29	3.56	-2.22*	3.74	3.24	3.23**				
									3.72	3.41	2.07*				
			3.18	2.84	2.52*				3.54	3.19	2.19*				
			3.19	2.92	2.00*				3.42	3.00	2.38*				
			3.44	3.16	2.00*				3.37	3.03	2.01*				
			3.37	3.03	2.54*				3.65	3.25	2.32*				
									3.59	3.19	2.45*				
3.72	3.40	2.44**	3.05	2.79	2.03*										
			3.15	2.83	2.56*										
3.51	3.18	2.81**	3.65	3.34	2.45*										
			3.42	3.16	2.18*				3.82	3.46	2.24*				
3.33	2.93	2.97**													
									3.80	3.49	2.19*				
3.55	3.30	2.02*													
3.27	2.99	2.01*													
3.33	3.19	1.82	3.31	3.14	2.17*	3.19	3.28	-1.14	3.44	3.21	2.43*				
			2.95	2.61	2.44*										
			2.77	2.47	2.52*								2.80	2.52	2.28*
			2.72	2.30	2.99**								2.74	2.39	2.51*
			2.93	2.38	3.50***								2.98	2.47	3.05**
													2.93	2.68	1.99*
													2.37	2.00	2.68**
			3.20	2.56	4.46***								3.17	2.75	2.87**
			2.59	2.25	2.48*										
			3.30	3.00	2.19*										
													2.90	2.55	2.52*
			3.57	3.17	3.00**										
			2.89	2.55	2.71**								2.94	2.59	2.81**
			3.39	2.86	3.64***										
			2.80	2.47	2.72***										
3.28	2.96	2.31*	3.36	2.98	2.73**										
2.85	2.56	2.38*													
3.17	2.79	2.80**	3.19	2.86	2.47*										
3.09	2.47	3.99***	3.16	2.57	3.76***										
2.81	2.27	3.60***	2.79	2.43	2.27*										
3.50	3.16	2.58*													
2.75	2.79	-0.53	2.92	2.57	4.04***	2.94	2.65	3.41***	2.83	3.00	-1.60				

因子	識別変数 項目	ウエイト			不安		T-値
		低	高	T-値	肯定	否定	
向上性	95 自分の間違いを直す材料になるから						
	94 他の意見を聞くのは良いことだから						
	67 結局は自分の為になると思うから						
	31 自分の技術向上になるから						
	98 自の態度が悪いことに気づいたから						
	79 自分の短所がわかっているから						
	2 注意されるのは自分の悪いところ						
	64 先輩は優れた経歴をもっているから						
	70 自分を客観的にみってくれるから						
	19 先輩の言うことにはなるほどと思う						
52 自らが間違っていると素直に思うから							
27 多くの知識・技能をもっているから							
88 自分が知らないことだったから							
	計	3.61	3.66	-0.64	3.66	3.60	0.92
正当性	11 目上のひとに従うのは当然だから				3.61	3.33	2.09*
	3 先輩に従うのはあたりまえだから						
	18 先輩にたいして失礼になるから						
	93 運動部は "そういうもの" だから						
	38 目上にたいする礼儀を重んじるから						
	17 先輩-後輩関係を大切にしたいから						
	104 どこでも先輩、後輩の関係はある						
	43 先輩は自分より年上だから						
26 先輩は絶対だと思うから							
	計	3.32	3.39	-0.78	3.42	3.27	1.64
人間性 専門 	7 先輩を尊敬しているから				3.36	3.12	2.04*
	8 自分達のことを考えてくれるから						
	12 先輩の教え方が上手だから						
	15 先輩を信頼しているから						
	4 先輩が手本を見せてくれるから	3.29	3.51	-2.00*			
	35 先輩の知識・技能は正しいから				3.91	3.59	2.75**
16 自分の知識が増えるから							
103 先輩は人生の先輩だから							
	計	3.49	3.54	-0.69	3.61	3.41	2.60*
集団維持	6 チームワークが乱れるから						
	14 チームの連帯感を乱さないため						
	29 チームでの障害になるから						
	1 集団としての秩序が保てないから						
	33 和を大事にしたいから						
	10 信頼関係に亀裂がはいるから				3.67	3.38	2.16*
	21 後輩にきちんとしてもらいたい						
102 自らを上級生の立場に置いてみると							
	計	3.60	3.65	-0.62	3.72	3.52	2.47*
技術向上	85 先輩に負けたくないから						
	9 先輩を上回るような選手になりたい						
	90 片寄ったプレイにならないために						
	41 自分を精神的に鍛えたいから						
	73 試合にでたいから						
	56 人よりうまくなりたいから						
	計	3.35	3.47	-1.32	3.44	3.37	0.81
依存性	62 教えてもらわないとわからないから				3.38	2.97	2.97**
	20 従わないと罰があるから						
	48 他のひとにも指示通りにしているから				2.99	2.70	2.23*
	37 チーム力があがるから						
	計	2.83	2.84	-0.19	2.94	2.72	2.63**
思いやり	24 先輩が自分と似ているから						
	25 他にいやな思いをさせたくないから						
	30 悪気があってのことでないから						
		計	3.02	3.05	-0.32	3.12	2.96

苦しさを通じて			先輩に従う			後輩に従わせる			支配-服従		
肯定	否定	T-値	肯定	否定	T-値	肯定	否定	T-値	改善	持続	T-値
4.08	3.82	2.23*									
3.88	3.63	2.27*				3.57	3.85	-2.63**	3.90	3.56	2.47*
3.68	3.60	1.00				3.56	3.69	-1.62	3.73	3.56	1.75
			3.74	3.10	5.03***						
			3.69	2.84	6.92***						
			3.76	3.06	6.14***						
			3.54	2.78	5.06***	3.43	3.06	2.36*			
			3.74	3.29	3.85***						
			3.96	3.62	3.03***						
			3.69	3.18	4.03***	3.64	3.34	2.35*			
			3.39	2.84	4.15***						
			2.87	2.25	4.47***	2.80	2.47	2.30*			
3.39	3.33	0.61	3.60	3.00	7.00***	3.42	3.67	-2.11*	3.58	3.62	-0.39
									3.82	3.42	2.46*
									3.98	3.66	2.67*
			3.55	3.25	2.37*						
3.44	3.16	2.17*									
3.59	3.46	1.65	3.57	3.44	1.64	3.47	3.55	-1.07	3.68	3.47	2.02*
4.07	3.13	2.77**	4.08	3.56	4.27***						
			3.87	3.56	2.70**						
			3.34	2.97	2.74**						
4.08	3.77	2.63**	3.99	3.75	2.01*	4.02	3.79	2.10*			
			3.74	3.18	4.25***	3.65	3.39	1.99*			
3.69	3.42	2.10*	3.69	3.30	2.95**						
3.66	3.36	2.31*	3.63	3.26	2.98**	3.63	3.35	2.22*			
3.74	3.55	2.48*	3.78	3.41	4.57***	3.75	3.53	2.84**	3.75	3.81	-0.76
3.86	3.50	2.54*									
3.58	3.14	3.16**									
3.53	3.32	2.20*	3.45	3.35	1.08	3.42	3.39	0.30	3.50	3.41	-0.72
			3.01	2.62	2.95**	2.29	1.77	3.32**			
3.51	3.19	2.52*									
2.92	2.78	1.64	2.93	2.70	2.71**	2.95	2.39	1.47*	2.93	2.94	-0.08
						3.33	3.03	2.37*			
3.08	3.01	0.75	3.11	3.94	1.71	3.13	2.96	1.77	3.05	3.15	-0.80

に再カテゴリー化することによって、T-検定を施すという手続きである。

表-5, 表-6はその分析結果の一覧である。煩雑さを避けるため、表にはすくなくとも5%水準で有意差の認められたところのみを統計値とともに示してある。

性別：男性142人, 女性45人。

男性に比べて女性に有意に高い項目は8項目である。

「励ましてくれる」「真剣さが伝わってくる」「部内がうまくやっていけなくなる」「雰囲気が悪くなる」「自らの間違いだから」「知識・技能に優る」「和が大事」「後輩にきちんと」というように多くの因子に及んでいる。

一方, 男性に有意に高い項目は「先輩は神様」「従わないと罰」の2項目である。

因子のレベルでは[集団維持]で, 女性が有意に高い。

学年：1年生と2年生の123人と3, 4年生の64人を識別変数にした。

有意差の出たのは全体でわずか4項目である。因子レベルではない。

「一緒に練習してくれる」「優れた経歴」「自分の知識が増える」では低学年に、「他の意見を聞くのは良いこと」では高学年に有意に高い評定値が出ている。

標本構成における4年生の占める割合が小さいことによる, カテゴリーの対照性の希薄さがこのような結果に反映しているのかもしれない。

種目：個人種目97人と集団種目90人を識別変数にした。個人種目は便宜的に対人種目も含めて器械体操, 水泳, 陸上, 剣道, 硬式庭球, 柔道。集団種目は, ラグビー, バレー, バスケット, 硬式野球, ハンドボール, である。

集団種目が有意に高い項目が多く出ているが, これは個人種目に比べて集団種目では上級生一下級生間の接触の頻度, 密度のレベルが高いことによるものであると理解することができる。

集団種目で有意に高い項目は「チームカラーをよく知っている」「神様と同じ」「言うことになるほどと思う」「自分が間違っている」「知識・技能が正しい」「人生の先輩」の6項目であり、「部の伝統・習慣」「日本独特の精神文化」の2項目で個人種目が有意に高い。

項目の内容をみると, 集団種目が高い項目に共通しているのは先輩の個人的属性に関する事柄であるのにたいし, 個人種目が高いふたつの項目は個人を越えた社会や集団の規範に属する事柄である。

因子レベルでも, [人間性-専門-]で集団種目が有意に高い。

役割：ここでは主将, 副主将, 主務, マネージャーを役割とし, 有するもの35人, 有しないもの151人を比較した。

評定値に有意な差がついているのは, わずか1項目のみである。

「他の意見を聞くことは良いこと」で組織上の役割占取者はそうでないものより有意に高い評定値をしている。

レギュラー：レギュラーが有意に高い項目は次の10項目。「よく知っている」「カッコいい」「真

剣さが伝わってくる」「試合に勝つため」「自分の間違いを直す」「自分の技術向上」「自分の短所である」「自分を客観的にみてる」「教え方が上手」「人よりうまくなりたい」。

逆にレギュラーでない者に有意に高く出ている項目は「罰がある」1項目のみである。

因子レベルでも、[人間性-親和-] [向上性] [技術向上] でレギュラーが有意に高く評定している。

技能習熟に先んじていると思われるレギュラーは、先輩-後輩の人間関係において濃密な影響関係のもとにおかれ、自らの技能の維持、発達を担保しているのであろう。

実力本位：「試合の選手起用で、日頃の練習ぶりにかかわりなく、実力本位になるのはやむをえない」という意見に肯定的なもの134人、否定的なもの53人を識別変数にした。

肯定と否定の間に有意差がある項目はいずれにおいても「肯定」高評定である。それらは次の8項目である。

「権力をもっている」「伝統・慣習である」「日本独特の精神文化である」「自分よりも年上」「和を大事に」「負けたくない」「チーム力があがる」「いやな思いをさせたくない」。

項目も多岐に富んでいて共通の内容を抽出することはできないが、実力本位的な考え方と保守的観念が重なった部分があるともいえそうで興味深い。

勝利指向：「スポーツでは勝ことがなによりも優先されるべきである」という意見への肯定者61人、否定者58人を比較した。対照性を強めるため、「どちらともいえない」の68人を抜いたものである。

肯定するものが因子レベルでは [強制性], [集団維持], [依存性] で否定者より有意に高い。他律主義的傾向を強くしめたものと解釈することができよう。項目レベルで肯定者に有意に高い評定値が出ているのはつぎの10項目である。

「絶対服従と言われ続けて」「後輩にしめしがつかない」「日本独特の精神文化」「無視できない」「運動部はそういうもの」「目上にたいする礼儀」「年上だから」「チームの障害になる」「信頼関係に亀裂」「自分と似ている」。

否定者が有意に高い評定値を出している項目は、「真剣さが伝わって来る」「多くの知識・技能をもっている」の2項目である。

ウェイト：「あなたの生活で部活動のウェイトの占める割合は？ 10%単位で書いてください」という質問に、10~50%の回答者96人、60~90%59人を比較検定した。一見して有意差のある項目が集中しているのが見て取れる。

因子レベルでは [人間性-親和-] で「ウェイト」高カテゴリーが有意に高い。項目レベルでの有意差項目（その全てが高カテゴリーが有意に高い評定値）も1項目を除いて [人間性-親和-] 因子に含まれている。

それらは、「一緒だと楽しい」「理想の人に似ている」「兄、妹のよう」「一緒に練習」「信念が好き」「褒めてくれる」「励ましてくれる」「技術的に1日の長」の項目である。

生活のなかで運動部活動に高いウェイトを置く層ほど、[人間性-親和-]、いわば、“親しみやすさ”を先輩の勢力資源として認知するようになるのである。

他に、「知識・技能が正しい」が高カテゴリーに有意に高い項目になっている。

不安：「練習や試合において、キャプテンや監督から細かい指示がないと不安に思う」という意見にたいする肯定者96人、否定者90人のあいだの検定である。

[人間性-親和-] [人間性-専門-] [集団維持] [依存性] の4因子レベルにおいて「肯定」カテゴリーに有意に高い評定値が示されている。他の存在や他からの指示によりかかってはじめて安心できる、外部指向タイプにたいしては、人間性や集団への依存が影響力を担保することになっている。

苦しさ：「どんなことでも、ほんとうに重要なことは、苦しきを通じてのみ、学ばれるものだ」との意見への回答、肯定者73人、否定者113人のあいだの検定。

因子レベルでは [集団維持] [技術向上] の2因子で「肯定」カテゴリーが「否定」カテゴリーより有意に高い。集団のためには個を犠牲にしたり、技術向上のためには自己内における一定の習練を欠かせないことから、“苦しき”「肯定」に高い評定値がでているものと思われる。

因子レベルでは有意な差はでていないものの、[人間性-親和-] 因子に含まれる6項目において「肯定」に有意に高い値がでている。

従う：「先輩のいうことは少々無理なことでも従うのが部活動の特徴である」という意見に、109人が肯定的、77人が否定的に答えている。

[人間性-親和-] [強制性] [正当性] [集団維持] [依存性]、分けても [強制性] [正当性] 「集団維持」の因子で「肯定」カテゴリーが「否定」カテゴリーより有意に高い。納得のいく追従もないわけではないが（「人間性-親和-」）、少々であったとしても“無理”な分だけ非人格的な権力の認知を背景にして追従が生ずるのであろう。

従わせる：「後輩にたいしては少々無理なことでもおしつけてよいのが部活動の特徴である」と

表-7 「従う」と「押し付け」のクロス表

		後輩に無理を押し付け	
		肯 定	否 定
先輩の無理に従う	肯 定	59人 53.6% (権威-維持)	51人 46.4% (権威-改善)
	否 定	25人 32.5% (民主-改悪)	52人 67.5% (民主-維持)

$$X^2=8.204 \quad p<0.01$$

いう意見にたいする肯定者84人、否定者103人のあいだの比較。

「肯定」カテゴリーが「否定」にたいして有意に高い評定をしているのは、[強制性] [正当性] [集団維持] [依存性] の4因子である。無理を強いることのできる根拠としてはこのような、人間内面からは疎外された権力主義的資源に担保されざるを得ないということであろう。

支配—服従：これは前期「従う」「従わせる」の両質問にたいする、それぞれ肯定、否定のカテゴリーをクロスさせたものからパターン化して識別変数を操作的に作ったものである。つまり、表-7に示すように、先輩には従わないといけないと考えているものでも、自ら先輩になったときに後輩にたいして無理強いをするかどうかについては意見が肯定と否定に分かれるのである。否定者を権威主義の「改善」派(51人)、肯定者を権威主義「維持」派(59人)とした。

「改善」派は[人間性—親和—]、[人間性—専門—]の2因子において有意に高い評定値を示している。後輩の立場では先輩の少々の無理を聞かざるを得ないと考えていても、先輩としてはそのような無理を後輩に強いようとは考えていない、いわば民主主義的指向の層は、先輩の“人間性”を勢力の資源として認知しているのである。

逆に上下のタテ関係「維持」派は、[強制性]因子に含まれる3項目で有意に高い評定値を示しているところから、いわば“怖さ”に弱い傾向を有しているように思われる。

以上、いささか煩雑な記述になってしまったが、まとめの意味で[人間性—親和—][強制性]の両因子についてその様相をみてみたい。

表-8はそれをまとめたものである。

表-8 [人間性～親和～] [強制性] 因子の様相

因 子	様 相				
人間性～親和～	レギュラー	高いウェイト	不安	従う	上下関係改善
強制性	実力本位	勝利至上	従う	従わせる	

既にみたように、9因子のなかで[人間性—親和—][強制性]の両因子の占める寄与率は約62%と圧倒的である。したがって、これらの因子が認知者のどのような属性によって支えられているかを示すことは興味深い。

まず[人間性—親和—]因子は、レギュラーで、それだけに大きなウェイトを置いて部活動に取り組んでいるけれども、他からの指示がなければ不安をおぼえ、先輩の無理にも従わざるを得ないと考えている。しかし長期的には先輩—後輩の上下関係は改善しようという意志をもっている後輩によって、先輩の勢力資源として認知されている、といえよう。

他方、[強制性] 因子は、実力本位や勝利至上主義を肯定し、先輩の無理に従うかわりに、自らの無理も後輩に押しつけるというタイプの後輩によって、先輩の勢力資源たらしめられている、とまとめられよう。

VI. まとめと残された課題

本調査研究では、大学運動部における上級生（先輩）の勢力資源を後輩による認知という観点から、関係-機能的アプローチによってあきらかにすることを目的とした。

評定値の平均でみると、自らの利益や向上をもたらすような項目にたいして後輩は高い評定を与え、威圧的な押しつけを意味する項目にたいする追従の理由付けは低い、大学生という特性によるものか、先輩にたいして合理的な振る舞いをしていることが窺われる。

因子分析による9つの因子の抽出とその解釈によると、[人間性-親和-][強制性]の2因子が大きくうかびあがってきた。大学運動部での先輩の後輩にたいする影響力は、彼らが後輩に如何に“親しみやすい”と認知されるか、如何に“怖い”と認知されるか、にかかっているということである。この2因子は明らかに意味内容を異にするものであるから、先輩のサイドからすると、どちらが突出するか、それとも時と場合に応じて両因子を使い分けるか、なかなかに対応の難しい事態に遭遇している。

さらに分析をすすめて、幾つかの意見や活動実態に関する質問を識別変数として、因子や項目にT-検定をほどこした。

寄与率の62%を占める2つの因子でその特徴をみると、まず[人間性-親和-]因子は、レギュラーで、大きなウェイトを置いて部活動に取り組んでおり、先輩-後輩の上下関係は改善しようという意志をもっている後輩によって、先輩の勢力資源として認知されている。他方、[強制性]因子は、実力本位や勝利至上主義を肯定し、先輩の無理に従うかわりに、自らの無理も後輩に押しつけるというタイプの後輩によって、先輩の勢力資源たらしめられていることが明らかになった。

このように、幾つかの点で本調査の成果を確認することはできるものの、反省点も多い。

まず、ケースの不十分さである。本調査が講義の内容として講義と並行的になされたこともあって、十分なケース数を確保することはできなかった。調査の実施も受講生の手に乗せたのであるが、彼らも初めての経験であるにもかかわらず熱心に取り組んだ成果であることには変わりないので、筆者からすれば感謝こそするべきである、と思う。

次に統計的な分析についてであるが、多変量的な解析の手法をもっと用いる必要があった。ケースの数にもよるが、例えばT-検定による分析も、数量化理論なりの多変量的な全体的分析に支えられてその“真の”値も明らかになってくるものと思われる。

しかし、本研究枠組みの適応は多くの領域で可能なように考えられる。

一例をあげると、これを中学生の段階に適用すればどうなるか、さらには社会人のレクリエーシ

ヨンのグループに実施すれば、また興味深い結果が、本調査の比較資料としてもたらされるであろう。

他分野の成果にも学びながら、研究を積み重ねていきたい。

註

- 1) 三隅二不二「リーダーシップ行動の科学」(有斐閣, 1978)
- 2) T. パーソンズ他(永井他訳)「行為の総合理論をめざして」(日本評論社, 1960)
- 3) 丹羽劭昭「運動集団の構造と機能」(奈良女子大学文学会, 研究年報, 1966)
- 4) 岡田 猛「スポーツクラブと自治能力の形成」(学校体育研究同志会研究年報, 第4号, 1986)
- 5) 岡田 猛「大学運動部におけるタテ関係と周辺文化」(コーチング・クリニック, 第5巻第9号, ベースボール・マガジン社, 1991)
岡田 猛「大学運動部におけるコンパ(company)の集団構成機能について」(第41回日本体育学会口頭発表, 1990)
- 6) フレンチ&レイヴィン「社会的勢力の基礎」(カートライザー&ザンダー(三隅他訳編)「グループ・ダイナミックス2」誠信書房, 1970)
- 7) 淵上克義「社会的勢力」(大坊他編「社会心理学パースペクティブ3」, 誠信書房, 1990)
- 8) R. リントン(清水他訳)「文化人類学入門」(東京創元新社, 1966)